

成績分布・GPA経験比較

2021.6月

大学改革推進センター
IR室



学校法人 昌賢学園
群馬医療福祉大学 | 短期大学部

Gunma University of Health and Welfare
/ Two-year college Course

目的

個々の授業科目においては「卒業時認定・学位授与方針」を踏まえて設定された個々の授業科目の**到達目標に、学生がどの程度の水準で達成できたかを明らかにするため**、定量的、定性的な根拠に基づいた厳格な成績管理が実施されることが求められている。

本学の成績分布の検証を行い、**今後のカリキュラム改定やより良い学修指導に活用できる GPA制度にするための判断材料に資すること**を目的に本調査を行った。

- 本学の成績評価基準は次の通りとなっている。

評価GPA	点数	割合
S 4.0	90～100点	15%未満
A 3.0	80～89点	35%未満
B 2.0	70～79点	
C 1.0	60～69点	
D 0.0	59点以下	失格

社会福祉学部

社会福祉学部 2018年度年間GPA

GPA	社会福祉学部1年		社会福祉学部2年		社会福祉学部3年		社会福祉学部4年		全体	
	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)
3~	29	38.7	13	20.0	41	44.1	49	45.4	132	38.7
2~3	44	58.7	46	70.8	46	49.5	49	45.4	185	54.3
1~2	2	2.7	5	7.7	5	5.4	10	9.3	22	6.5
~1	0	0.0	1	1.5	1	1.1	0	0.0	2	0.6
合計	75	100.0	65	100.0	93	100.0	108	100.0	341	100.0
	平均値	2.8	平均値	2.6	平均値	2.8	平均値	2.9	平均値	2.77

社会福祉学部 2019年度年間GPA

GPA	社会福祉学部1年			社会福祉学部2年			社会福祉学部3年			社会福祉学部4年			全体	
	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)
3~	5	8.5	6	7.9	12	15.8	9	10.0	32	10.6				
2~3	40	67.8	44	57.9	48	63.2	55	61.1	187	62.1				
1~2	14	23.7	25	32.9	16	21.1	25	27.8	80	26.6				
~1	0	0.0	1	1.3	0	0.0	1	1.1	2	0.7				
合計	59	100.0	76	100.0	76	100.0	90	100.0	301	100.0				
	平均値	2.3	平均値	2.2	平均値	2.4	平均値	2.2	平均値	2.27				

社会福祉学部 2020年度年間GPA

GPA	社会福祉学部1年		社会福祉学部2年		社会福祉学部3年		社会福祉学部4年		全体	
	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)
3~	4	5.9	7	12.1	6	7.1	14	18.4	31	10.9
2~3	59	86.8	40	69.0	62	72.9	47	61.8	208	72.5
1~2	5	7.4	11	19.0	14	16.5	14	18.4	44	15.3
~1	0	0.0	0	0.0	3	3.5	1	1.3	4	1.4
合計	68	100.0	58	100.0	85	100.0	76	100.0	287	100.0
	平均値	2.4	平均値	2.4	平均値	2.4	平均値	2.5	平均値	2.43

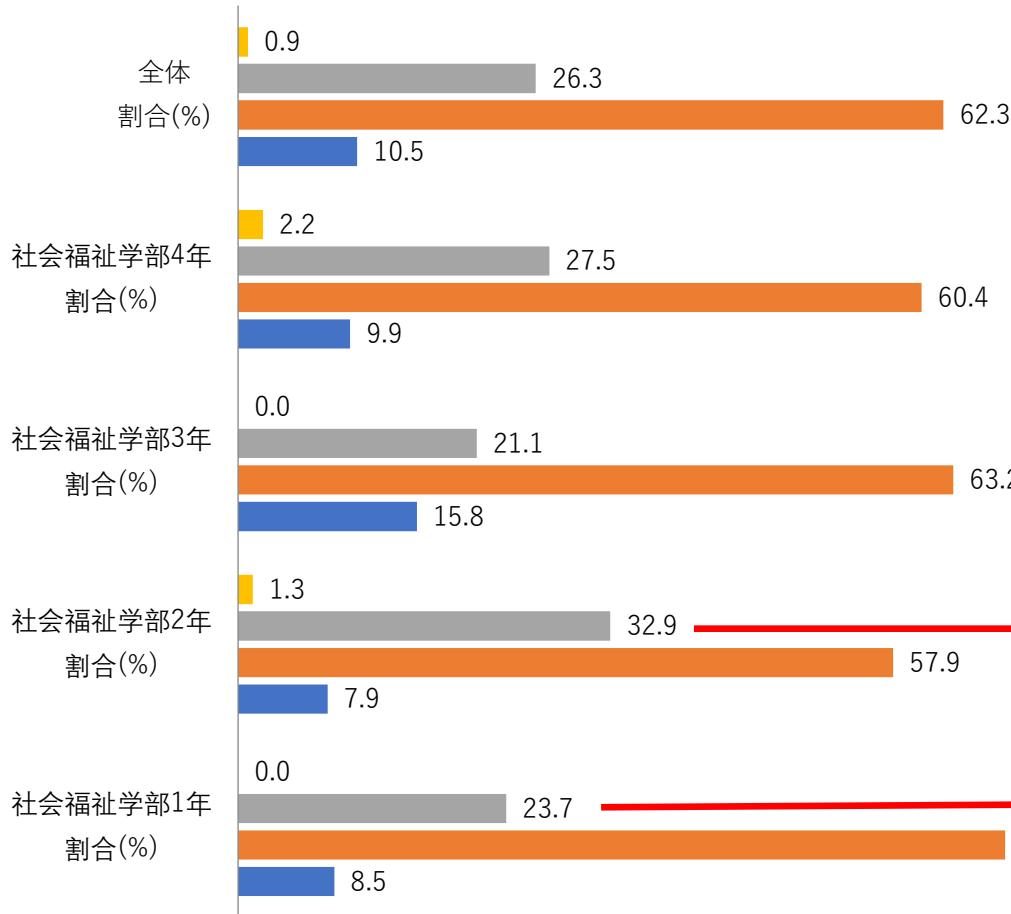
全学生による地域貢献・ボランティア活動



現場に強い医療・福祉・教育人材育成

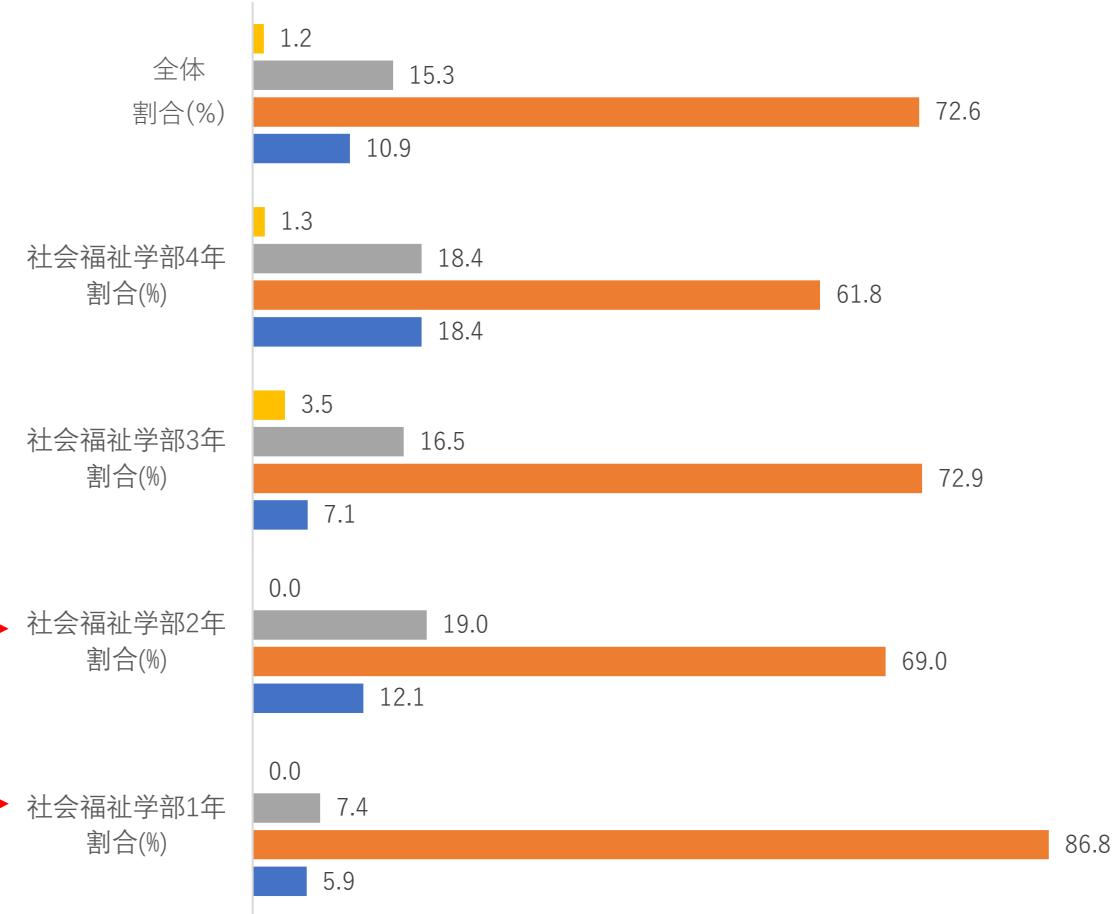
2019年度

■ ~1 ■ 1~2 ■ 2~3 ■ 3~



2020年度

■ ~1 ■ 1~2 ■ 2~3 ■ 3~



社会福祉学部 成績分布について

- ・点検 GPA運用規定に基づき適切な評価がなされている。
- ・前年度(2019年度)と比較すると全体的にGPA値の向上がみられる。GPA値1~2層を減らし、2~3層を増やすことを前年度報告で取り上げたが、2020年度においては成果がみられた。
- ・GPA1以下の学生が3年生において3名存在（現4年生）、昨年時よりも2名増加しており、この3名について「卒業時認定・学位授与方針」の到達目標達成が懸念される。

短期大学部 医療福祉学科

医療福祉学科 2018年度年間GPA

GPA	短期大学1年		短期大学2年		全体	
	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)
3~	15	26.3	16	45.7	31	33.7
2~3	36	63.2	17	48.6	53	57.6
1~2	6	10.5	2	5.7	8	8.7
~1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	57	100.0	35	100.0	92	100.0
	平均値	2.7	平均値	2.8	平均値	2.75

医療福祉学科 2019年度年間GPA

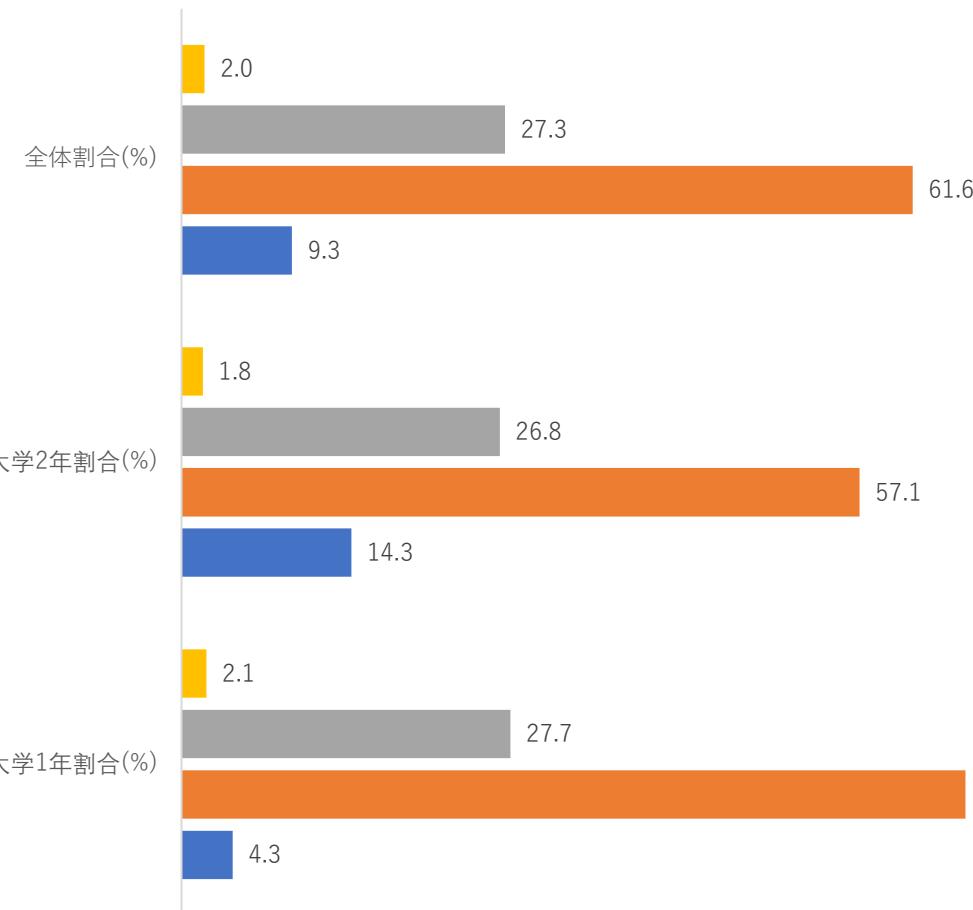
GPA	短期大学1年		短期大学2年		全体	
	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)
3~	2	4.3	8	14.3	10	9.7
2~3	31	66.0	32	57.1	63	61.2
1~2	13	27.7	15	26.8	28	27.2
~1	1	2.1	1	1.8	2	1.9
合計	47	100	56	100	103	100
	平均値	2.2	平均値	2.3	平均値	2.25

医療福祉学科 2020年度年間GPA

GPA	短期大学1年		短期大学2年		全体	
	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)
3~	1	2.0	8	17.4	9	9.4
2~3	40	80.0	27	58.7	67	69.8
1~2	9	18.0	10	21.7	19	19.8
~1	0	0.0	1	2.2	1	1.0
合計	50	100	46	100	96	100.0
	平均値	2.3	平均値	2.3	平均値	2.3

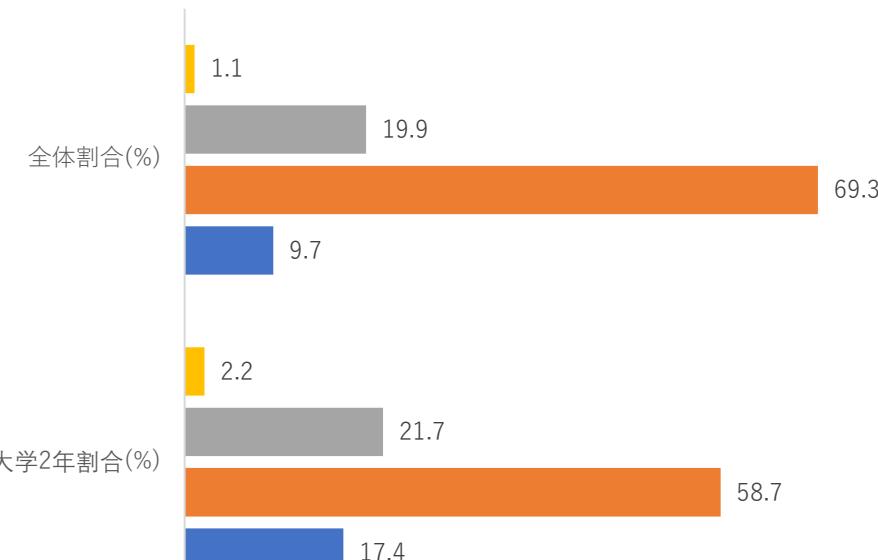
2019年度

■ ~1 ■ 1~2 ■ 2~3 ■ 3~



2020年度

■ ~1 ■ 1~2 ■ 2~3 ■ 3~



短期大学部 成績分布について

- 点検 GPA運用規定に基づき適切な評価がなされている。
- 前年度(2019年度)と比較すると全体的にGPA値の向上がみられる。GPA値1~2層を減らし、2~3層を増やすことを前年度報告で取り上げたが、2020年度においては成果がみられた。
- 現2年生においてGPA1以下の学生は存在していない。またGPA2以上の学生が82%と前年度より11.7%上昇している。

看護学部

看護学部 2018年度年間GPA

GPA	看護1年		看護2年		看護3年		看護4年		全体	
	人数(名)	割合(%)								
3.0~	29	32.6	47	52.2	70	76.9	68	71.6	214	58.6
2.0~3.0	54	60.7	40	44.4	19	20.9	27	28.4	140	38.4
1.0~2.0	5	5.6	3	3.3	2	2.2	0	0.0	10	2.7
~1.0	1	1.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.3
合計	89	100.0	90	100.0	91	100.0	95	100.0	365	100.0
	平均値	2.7	平均値	2.9	平均値	3.2	平均値	3.1	平均値	2.97

看護学部 2019年度年間GPA

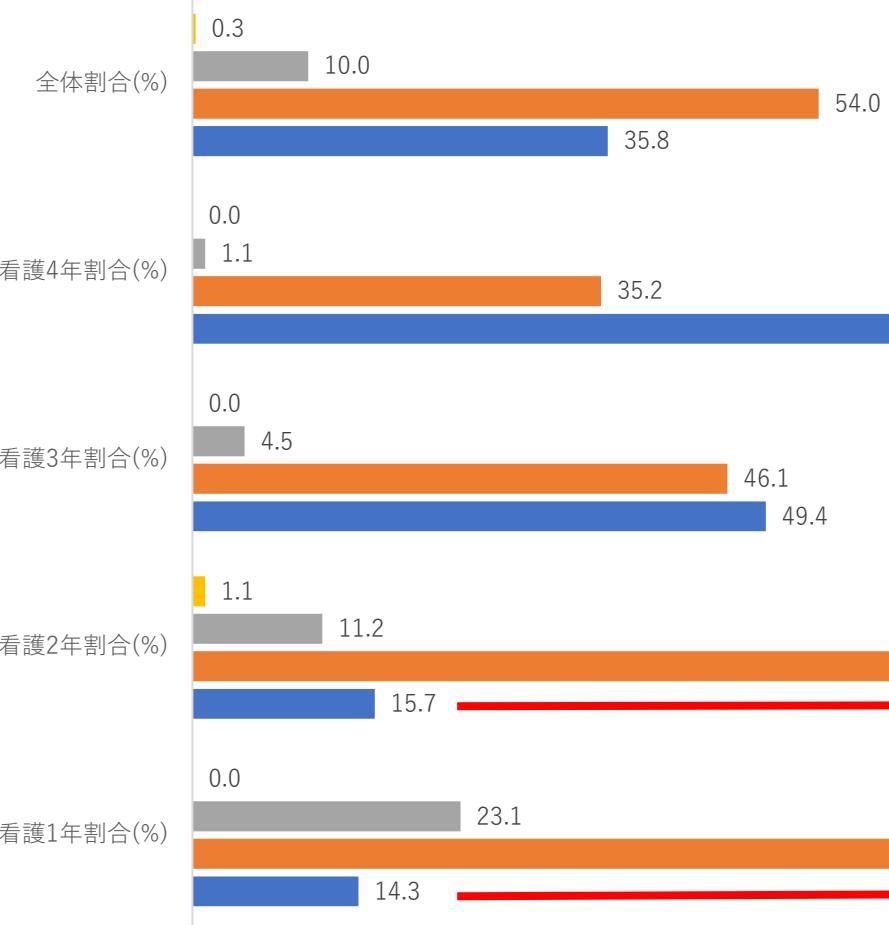
GPA	看護1年		看護2年		看護3年		看護4年		全体	
	人数(名)	割合(%)								
3.0~	13	14.3	14	15.7	44	49.4	58	63.7	129	35.8
2.0~3.0	57	62.6	64	71.9	41	46.1	32	35.2	194	53.9
1.0~2.0	21	23.1	10	11.2	4	4.5	1	1.1	36	10.0
~1.0	0	0.0	1	1.1	0	0.0	0	0.0	1	0.3
合計	91	100.0	89	100.0	89	100.0	91	100.0	360	100.0
	平均値	2.4	平均値	2.5	平均値	2.9	平均値	3.0	平均値	2.7

看護学部 2020年度年間GPA

GPA	看護1年		看護2年		看護3年		看護4年		全体	
	人数(名)	割合(%)								
3.0~	39	43.8	30	33.7	34	38.6	37	41.1	140	39.3
2.0~3.0	46	51.7	56	62.9	48	54.5	48	53.3	198	55.6
1.0~2.0	4	4.5	3	3.4	6	6.8	5	5.6	18	5.1
~1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	89	100.0	89	100.0	88	100.0	90	100.0	356	100.0
	平均値	2.8								

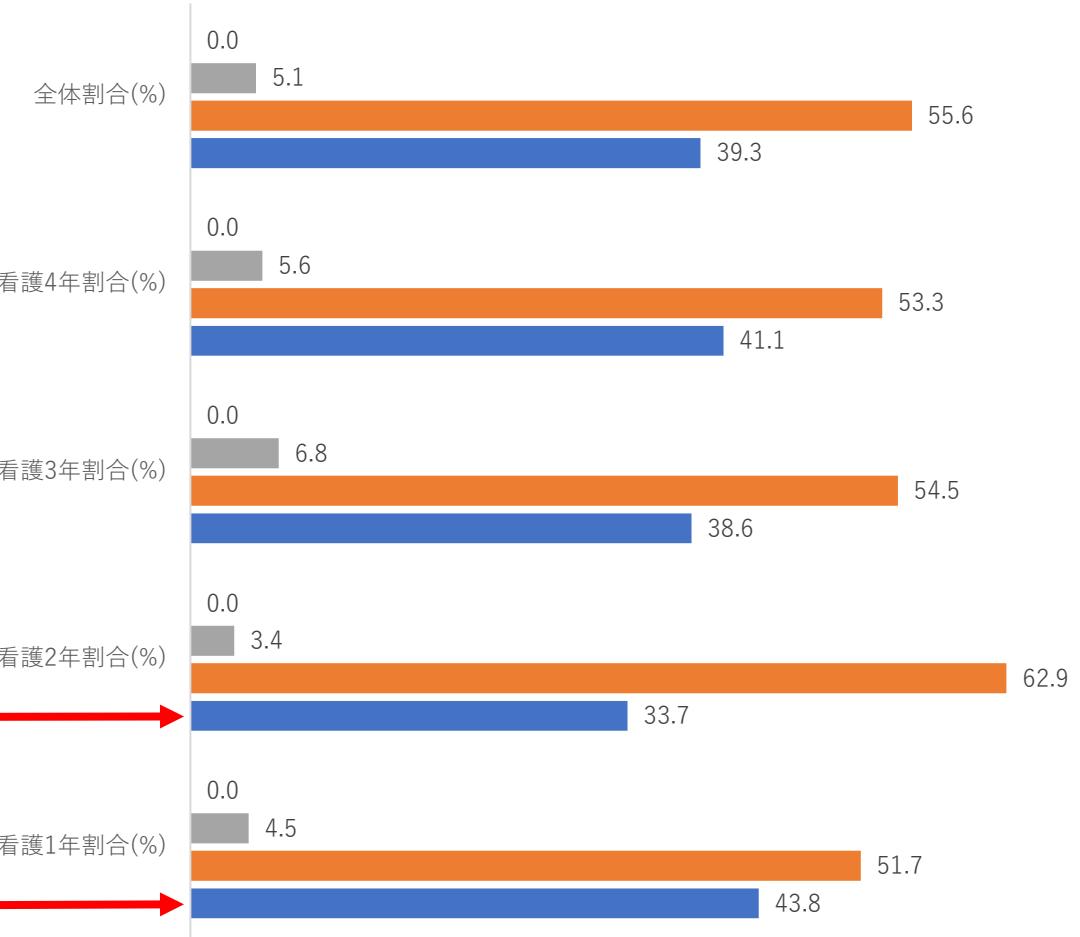
2019年度

~1.0 1.0~2.0 2.0~3.0 3.0~



2020年度

~1.0 1.0~2.0 2.0~3.0 3.0~



看護学部 成績分布について

- 点検 GPA運用規定 (GPA評価の妥当性) 第7条 [評価基準]
A以上を35%未満とする。について適切な評価がなされていない可能性がある。
- GPA値が大幅に上昇しており、1年生ではGPA3.0以上において29.5%・2年生18%と上昇している。学生の学力向上に繋がったとも考えられるが、他学部の成績分布と比較すると看護学部においては緩い評価基準になったように思われる。今年度は再度、GPA運用規定の評価基準に沿った成績評価が求められる。2020年度はコロナ禍で、遠隔授業マニュアル等において、到達レベルを下げることも許容する説明をしていたことも影響していたかもしれない。
- 全学年においてGPA1以下の学生は存在していない。

リハビリテーション学部

リハビリ学部 2018年度年間GPA

GPA	リハビリ学部1年		リハビリ学部2年		リハビリ学部3年		リハビリ学部4年		全体	
	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)
3~	12	16.7	10	17.5	29	44.6	30	45.5	81	31.2
2~3	42	58.3	35	61.4	33	50.8	30	45.5	140	53.8
1~2	17	23.6	12	21.1	3	4.6	6	9.1	38	14.6
~1	1	1.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4
合計	72	100	57	100	65	100	66	100	260	100
	平均値	2.3	平均値	2.5	平均値	2.9	平均値	2.8	平均値	2.62

リハビリ学部 2019年度年間GPA

GPA	リハビリ学部1年		リハビリ学部2年		リハビリ学部3年		リハビリ学部4年		全体	
	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)
3~	12	15.8	9	12.9	13	22.8	31	47.0	65	24.2
2~3	49	64.5	36	51.4	35	61.4	30	45.5	150	55.8
1~2	15	19.7	23	32.9	9	15.8	5	7.6	52	19.3
~1	0	0.0	2	2.9	0	0.0	0	0.0	2	0.7
合計	76	100	70	100	57	100	66	100	269	100
	平均値	2.4	平均値	2.1	平均値	2.6	平均値	2.8	平均値	2.47

リハビリ学部 2020年度年間GPA

GPA	リハビリ学部1年		リハビリ学部2年		リハビリ学部3年		リハビリ学部4年		全体	
	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)	人数(名)	割合(%)
3~	13	16.7	12	18.2	16	25.8	27	50.9	68	26.3
2~3	62	79.5	51	77.3	35	56.5	23	43.4	171	66.0
1~2	3	3.8	1	1.5	11	17.7	3	5.7	18	6.9
~1	0	0.0	2	3.0	0	0.0	0	0.0	2	0.8
合計	78	100.0	66	100.0	62	100.0	53	100.0	259	100.0
	平均値	2.6	平均値	2.4	平均値	2.5	平均値	2.8	平均値	2.58

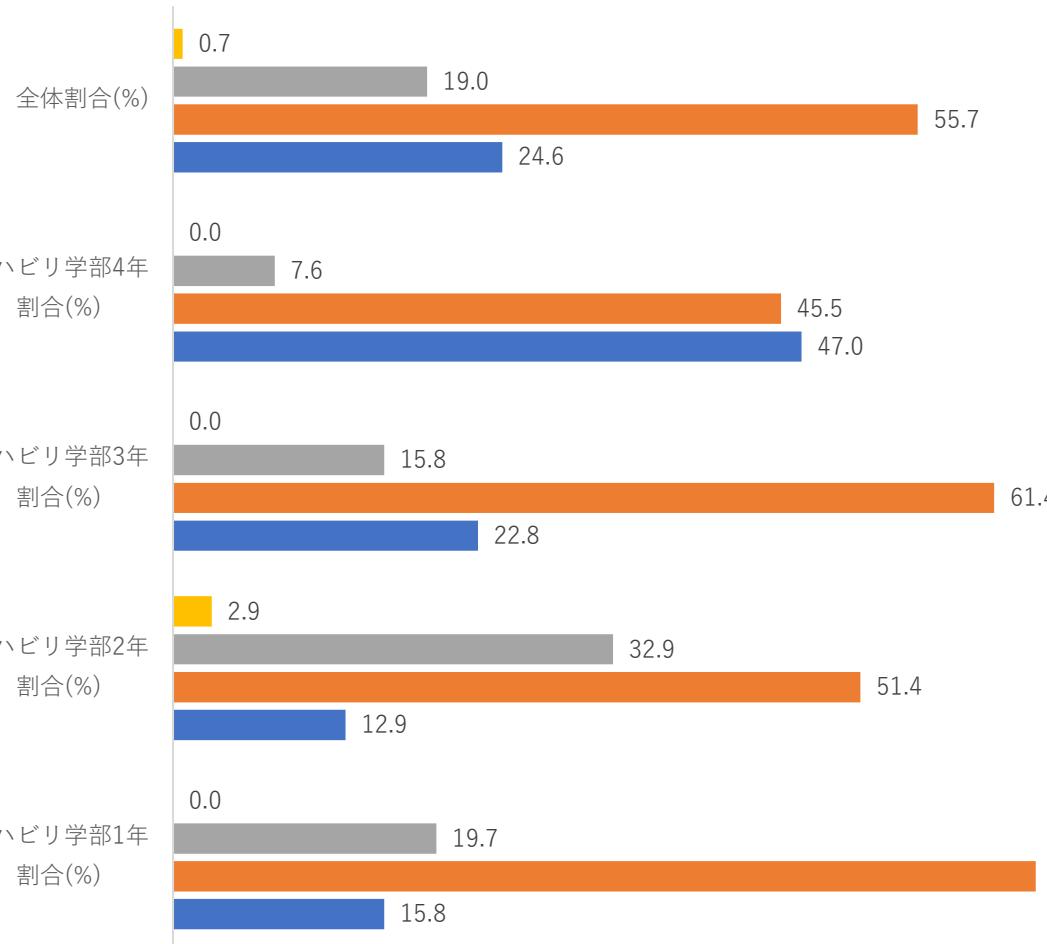
全学生による地域貢献・ボランティア活動



現場に強い医療・福祉・教育人材育成

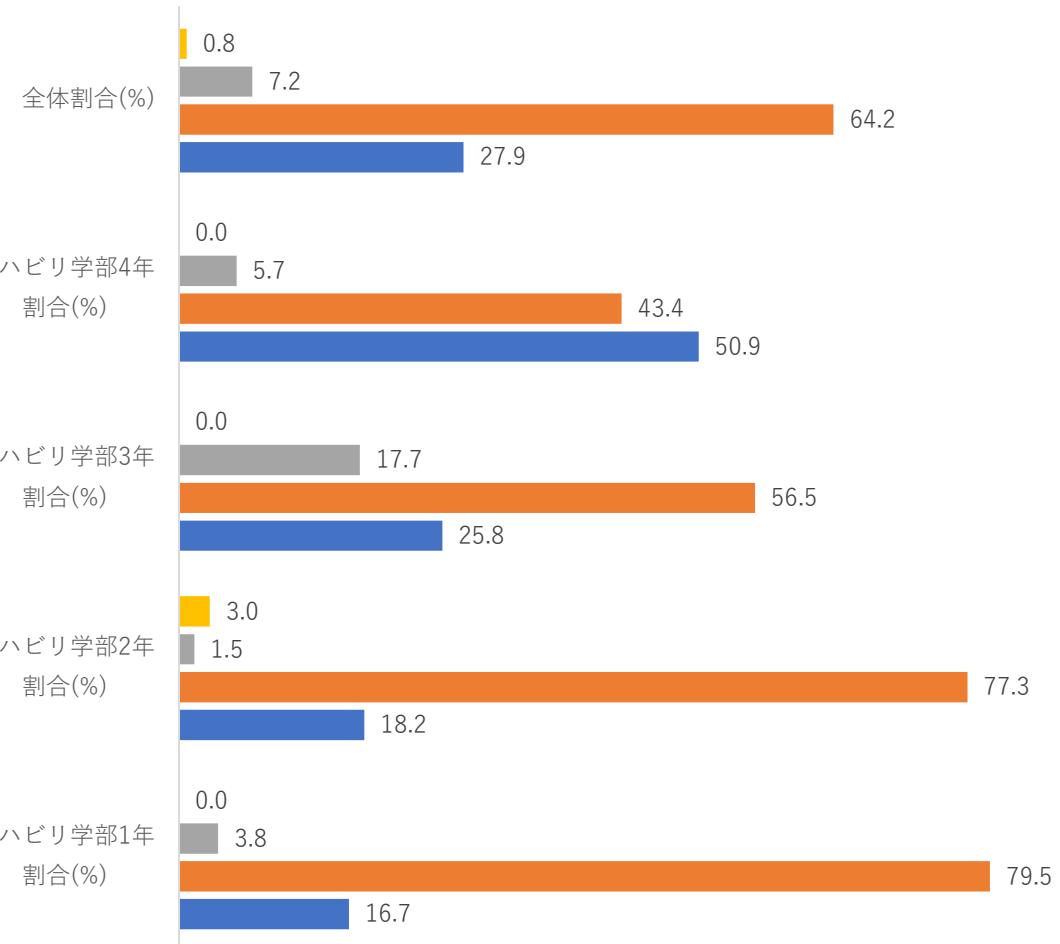
2019年度

■ ~1 ■ 1~2 ■ 2~3 ■ 3~



2020年度

■ ~1 ■ 1~2 ■ 2~3 ■ 3~



リハビリテーション学部 成績分布に関して

- ・点検 GPA運用規定に基づき適切な評価がなされている。
- ・前年度(2019年度)と比較すると全体的にGPA値の向上がみられる。GPA値1~2層を減らし、2~3層を増やすことを前年度報告で取り上げたが、2020年度においては成果がみられた。
- ・2019年度 2年時においてGPA1以下の学生が2名いたが、2020年度 3年時では成績の向上がみられ、GPA1以下の学生は存在していない。
- ・2020年度 2年時においてGPA1以下の学生が2名存在している。(現3年生)
前述したような改善を期待する。

まとめ

今回の調査では各学部の成績分布状況及を経年比較したものであるが、**今後は各科目ごとの成績評価の状況を確認する必要**がある。
到達目標を大きく上回る学生が多数となった授業科目は、**到達目標の水準を上げ、授業内容を高度化**することや、到達目標に達しない学生が多数となった授業科目は、**到達目標は変えずに、学生の理解がさらに深まるような授業を検討**するなど個別的、具体的な事情に応じた様々な対応策を考える必要があるためである。その際、個々の授業科目の到達目標には**「卒業認定・学位授与方針」に定められた学修目標の達成に向けて担うべき役割がある**ことに改めて留意すること。

教学マネジメント指針 中央教育審議会大学分科会